

3/7

I-34

(4) 様式 4\_助成事業実施報告書 (※ このまま使用される場合、コピーして下さい)

2023 年 2 月 28 日

2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 多摩市レクリエーション協会  
代表者・役職名 氏名 理事長 朝倉 泰行

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

多摩市少年少女 タグラグビー ふれあい フェスティバル

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

地域の有志が2018年2月に特定非営利活動法人多摩市レクリエーション協会を設立させた。テニス協会、健康スポーツインストラクター研修会らと広範囲の活動をしきた。会員(正式)は20人程度だが、様々な団体と協力し合って活動している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ラグビーという激しいスポーツを子供たちも安全に楽しめるスポーツ、タグラグビーを中学校教員を中心にさらに普及を目指し、今まで未経験の子どもたちも加えて、ふれあいフェスティバルを実施する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

主体として今年も続けてきく親善試合を行う。また、タグラグビー未経験者にも呼びかけ、ゲームの楽しさを知ってもらう。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

昨年予定したフェスティバルは中止となった。今年も同じコロナ禍という中で、活動を制限されている子供たちに機会を提供した。やれど楽しかったと喜び子供たち(主に初めての経験者)としてきてくれた(経験者)に合われたが、参加する子供たちはかなり減った。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度まで

現在は中学生が主体である。しかし、コロナ禍の三年間ほとんど活動できず、参加者、参加チームが激的に減った。このため底辺を広げるため、小学生を中心にタグラグビーの普及を進めていく必要がある。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。





# 多摩市少年少女タグラグビー

## ふれあいフェスティバル



2023年2月23日

午前10時より

(木) 天皇誕生日

午後3時まで

主催

会場が変わりました

多摩市レクリエーション協会

多摩市立東寺方小学校

共催

校庭 (受付) 体育館

タマリバティアカデミー

教室 (控室)

後援

多摩市・多摩市教育委員会



真如苑